平成28年度 第3回豊明市子ども・子育て会議

平成28年8月30日（火）午前10時30分から
豊明市役所 東館1階 会議室6

事務局

本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。
定刻になりましたので只今から平成28年度第3回豊明市子ども・子育て会議を始めます。
本日の出席状況は、委員14名のうち9名のご出席いただいておりますので、会議は成立いたします。はじめに、健康福祉部長よりあいさつをお願いします。

健康福祉部長

皆さまお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。前回の会議では、小規模保育事業について多くの意見をいただきました。本日は（2）保育利用料について、さらには（3）子ども・子育て支援事業計画の評価方法などについてご議論をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局

進行に入ります。まず、議事に入る前にこの会議は公開等に関する取扱要領に基づき公開となっております。本日は傍聴の申込みはありませんでした。では資料の確認をいたします。それでは、議事に入ります。田中委員長に進行をお願いいたします。

委員長

議題（1）小規模保育事業の認可等について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（小規模保育事業の認可等について）資料 No. 1 に基づき説明。

委員長

ありがとうございました。
前回の会議にて多くの議論を交わした本テーマですが、地元の認可外保育事業者にも認可・確認についての希望をお聞きすべき、との話からその結果としての現状をお伝えいただきました。ご意見、ご質問、ご不明な点があればどうぞ。

以下、議論の内容については発言要旨を記す。

委員

- ・市内の事業者から申請があったということで、良い形で認可までいけると良いと思います。
- ・3つの業者が手を挙げたようですが、資料を見ても施設整備状況や人の状況、事業者の決算書類等、詳しい内容が記載されていないため、これら業者が小規模保育事業を適切にできるかどうかについて意見の出しようがないです。
- ・事業所名で「豊明幼稚園」とあるが、これは「豊明学園」が幼稚園とは別事業で手を挙げているのではないのでしょうか。

事務局

認可と確認の判断基準については、細かい資料まではお示ししていませんが、児童福祉課内で提出された資料を今後細かく実施可能かどうか、認可しうるものであるかどうかを検証していきます。

豊明幼稚園の資料表記については委員の指摘どおり、法人名としては「豊明学園」が正しいです。こちらについては、当面空き教室の利用やトイレ、出入口を専用のものを準備するなどに対応し、半年後は専用の建物ができる予定です。受け入れ対応の年齢については、3歳からの幼稚園を見据えて、2歳児またはそれ以下の受け入れを希望されており、市からも0歳児、1歳児の保育受け入れ希望をお伝えした上での資料記載の人数になっています。

なかよし共同保育所は現在認可外保育所です。現在は食事を作るスペースが区切られていないため、改修が完了次第、認可と確認を進める予定です。

ベイビーハグスもなかよし共同保育所と同様の理由での改修を予定しており、終わり次第の認可と確認を予定しています。こちらは民間の株式会社さんが運営しています。

委員長

- ・豊明学園は当面の空き教室での保育環境は、0歳児と1歳児、2歳児が同じ教室にいて、ということですか。もしそうだとするとあまり好ましくはないと思います。
- ・手を挙げている3か所は、すべて条件は満たしていますか。A型なら保育士の資格が全員必要ですし、子ども一人あたりの面積確保も必要だと思います。

事務局

0歳児と1歳児、2歳児が同じ教室内にいるかどうかについては、スペースは区切りますが、空き教室を利用する半年間は同じ教室内にすることになります。

3つの事業者ともに、条件を満たしているかどうかについては、細かい部分については申請書もかなりのボリュームなので、内容確認するのはこれからです。しかし、子どもを保育するための面積の問題であるとか、独立した階段、自園調理の設備など、大きな枠組み条件は満たしているので、認可予定である、という現状となっています。また、繰り返しますが、豊明学園は敷地内に別棟を建てて保育事業を行う予定です。

委員長

- ・なかよし共同保育所には現在、何人の利用者がいますか。

委員

11名の利用者がいます。認可外保育である現在の定員は20名です。

事務局

今回手を挙げている3つの事業者については、先にもお伝えしたように、認可に向けての細かい部分はこれから進めることになります。本件はあくまでも3つの事業者から申請がありました、という報告であることを重ねてお伝えしたいです。

委員

- ・3歳未満児の保育ニーズが、計画予想よりも多くなったことに対する、市の素早い対応策については保護者にとっても希望の持てる動きです。
- ・今後、3つの事業者に小規模保育事業実施の認可がおりた場合、現在の待機児童問題は解消される見込みでしょうか。
- ・今後、さらにどの程度の定員を確保する必要があると見込んでいるのでしょうか。また、3事業者以外にも小規模保育事業に参入しそうな業者が市内にいますでしょうか。

事務局

第2回の子育て会議にてお示しした保育の枠拡大については、前倒しで実施していくことで、国基準での待機児童問題については解消できる見込みですが、保護者の利便性まで考慮した保育所の受け皿づくり、いわゆる「潜在的な待機児童問題の解消」まで解消するためには、引き続き対策が必要です。

例を挙げるとベビーハグスなど、市の中心部にあることで利便性が高く、定員に対して利用希望者が上回ります。しかし、郊外にある保育所にはまだ空きがあるが保護者は不便な場所にある保育所なら利用したくない、という現象が潜在的な待機児童問題です。引き続き本件は課題となっています。

今後の必要定員数については、すべてA型の小規模保育施設での充足をパブリックコメントでも示していますように、平成31年に5施設、95人増やすことを目指しています。

手を挙げている事業者は、資料の3事業者の他にももう1者います。他の事業者からも引き合いがあれば、市としては積極的に相談に乗る方向です。

委員

- ・既存の業者さんを優先に認可を受け付けることで進んでいることと、計画よりも前倒しで進められようとしている市の取り組みは評価できます。
- ・既存の事業者の意向確認後はそれ以外の事業者募集を公募で行っていく予定でしょうか。

事務局

4か所は計画よりも前倒しで進められる見込みですが、5か所めについては事業者から手が挙がるかどうかは不透明です。市内の事業者を優先に進める方針よりもっと早く、より多くの待機児童問題に直面した場合は、市内事業者だけでなく広域に呼びかけて保育事業者の担い手を募集することも検討する可能性はあります。事業者募集の是非については毎年子ども子育て会議でも諮る予定です。

委員

- ・市内の事業者4つから手が挙がる、という点は評価できます。
- ・保育所の場所に偏りがある点については解消できると良いと思います。
- ・認可外保育には認可外であるが故の利便性など、利用しやすい部分もあるので、すべてを認可保育とする方向性があるとするならば、利用者目線を考えると、あると良いことを意見として申し上げたいです。
- ・今後できていく小規模保育施設には3歳未満児が通うことになりますが、その子たちが3歳になった際の受け皿として、転所しなければならない状況を何とか最小限に抑えてほしいと思います。

事務局

保育所の場所の偏りについては、今ある施設を利用して保育の枠を拡大させていくことを基本方針としているため、偏りを解決することは現状難しいと考えています。市としても、特に1号線を挟んで、南側と北側に自宅と保育所が分かれている場合の送迎の困難さなどは重々承知しています。しかし、市が事業者に対して保育所の場所までを指定できる訳ではないこともあり、保育所の場所で起こる問題については解決が難しい状況です。

認可外保育施設は、今後1か所のみ残る見込みです。その施設は今後も認可外保育施設として継続する予定です。

小規模保育施設の利用児が3歳になって以降の転所については、公立の保育所と連携をとって、円滑な転所ができるようにしていく予定です。

委員

- ・公立保育所で、3歳以上児の定員を増やす予定はありませんか。

事務局

小規模保育施設での3歳未満児の受け入れ数が拡大した場合、連携する公立保育所の3歳未満児の定員を減らすことができるかもしれません。もし実現すれば、ご指摘のように3歳以上児の定員を拡大することも検討できると思います。

事務局

現場の意見ですが、公立保育所での3歳未満児の受け入れ数ニーズもあるので、一概にすぐに実行に移せるかどうかは不透明ですが、可能な状況になれば保育所の定員の調整も検討します。

委員長

- ・来年度から国の保育指針が新しくなり、おそらく3歳未満児についての内容がかなり変わると思われます。小規模保育事業も指針を考慮して対応すると良いと思います。

委員

- ・幼稚園での預かり保育や延長保育、長期休みでの保育サービス等、「幼稚園での保育」でサービスを充足させていくという方向性も選択肢としてはあると思います。

委員長

- ・愛知県内をみると、かなり多くの認定こども園が創出されていく状況なので、そのような動きも本市は参考にしながら課題解決をしていく必要があると思います。

委員長

他に意見がなければ、本会における議題（１）は了承ということでよろしいでしょうか。

一同

（異議なし）

委員長

では、議題（２）平成２９年度の保育料について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（平成２９年度の保育料について）資料 No. 2 に基づき説明。

委員長

ありがとうございました。これまでも議論が交わされてきましたように、保育標準時間利用と保育短時間利用の利用者負担の矛盾を解消してほしいとの意見に対する方向性を提案いただきましたが、ご意見、ご質問、ご不明な点があればどうぞ。市からの提案内容を見ると、標準時間利用者の負担額を微増、短時間利用者の負担額を減少させる、という内容であると思います。

委員

- ・市の提案内容への感想ですが、もし実施された場合、これまで月額換算で標準時間と短時間の利用者負担額の差が数百円だったものが、数千円の違いになってくるため、利用者も敏感になり、保育短時間での利用者が計画よりも増え、標準時間利用者が減ることにより今までの定員バランスが崩れ、サービス実施に影響するのではないかと懸念されます。

委員長

他に意見がなければ、本会における議題（２）は了承ということでよろしいでしょうか。

一同

(異議なし)

委員長

では、議題（3）子ども子育て支援事業計画の進捗管理について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(子ども子育て支援事業計画の進捗管理について) 資料 No. 3 に基づき説明。

委員長

ありがとうございました。本日この場で確認すべきことは、この計画進捗管理の今後の流れ、スケジュールなどを共有するという事で宜しいでしょうか。今の説明ですと、子ども子育て会議としての意見は、関係者ヒアリング後、資料がそろった時点で実施という事ですが、評価していく時点で評価すべき視点を本会議、あるいは委員からの提案で実施する、という事などは可能でしょうか。

事務局

児童福祉課の内部でも、今回の資料をつくり込んで確認していただいたという経緯ではなく、今後の大きな流れを説明するために暫定的に持ってきたものです。新しい視点などは、本会でご指摘いただければ幸いです。また、後ほど子ども子育てに関する90事業すべてを評価コメントいただくのは大変だと思います。すべての資料をご覧いただく形ではなく、こちらである程度選別してご意見を頂戴する方法も考えられます。そのあたりは委員さんからもご意見お願いしたいです。

委員長

・すべての資料に目を通さず、抜粋版を作ってもらい、その評価をするというのも一つの方法だが、逆にすべての資料を見て、そこから委員それぞれの立場や意見をそれぞれが選んで評価コメントをする、という方法も考えられます。委員それぞれも関心ごとが違うことを考えると、後者が良いのかなとも思います。委員さんの意見はいかがでしょうか。

委員

- ・全90事業と聞くと、コメントできるかどうか不安になります。知らない事業に関しては想像できないものもありますので。

委員長

- ・確かに委員それぞれがすべての事業に対して評価をすることは難しいと思います。だから、さきほどの後者の選択のように、すべての資料に一旦目を通した後、自分が分かるもの、評価できるものだけを委員それぞれが選択して、評価コメントをするということの良いのではないかと思います。

委員

- ・12月に評価のための資料が送付されてくるとの予定ですが、どの程度の期間をいただいて、評価していくのでしょうか。
- ・その評価から改善内容について、改めて子ども子育て会議の場で議論を重ねるのでしょうか。

事務局

本会議予算は年4回実施で、今回すでに3回めであり、最後の4回めは年度末に行う予定ですが、評価について再度議論が必要というご意見でしたら、追加で会議開催のため、予算を調整する必要がでてきますが、現在の市としての予定は、評価ご意見については郵送でやり取りさせていただき、意見を施策に反映するための参考意見とし、評価のための会議開催は行わない予定です。最終案を3月末にまとめたものを見ていただくのが評価についての予定です。90事業についても、委員長ご指摘のように、興味がある部分のみご意見をいただくという方法で良いかと思います。しかし、中間的な追加の会議開催が必要ということであれば、今ご意見をいただきたいと思います。

委員

- ・追加会議開催の話ではありませんが、我々委員の元に届いた時点での資料は、1から6まで市としての意見が書かれたものが届くというイメージでいてよいのでしょうか。

事務局

はい、そうです。

委員

- ・そうならば、コメントするときの労力も問題ないと思います。

委員

- ・委員の出しかたについて、前半部分と後半部分ともに委員の意見を7に書くという事だと思いますが、前半と後半でどのように違いがあるのかわかりにくいです。

事務局

前半部分も後半部分も、7の枠には委員さんが思う内容を書いていただければと思います。

委員

- ・我々は、それぞれの意見を書けばよいという理解で進めます。書かれた内容は事務局さんでまとめてくださるということですね。

事務局

はい、そのように進めてください。資料に書かれた内容で不明点あれば、児童福祉課まで問い合わせをお願いします。

先ほど、評価をいただくために委員各位へお送りする資料は1から6まで書かれたものを、というお伝えでしたが、今後事務局でも検討し、8番の方向性まで書かれた内容でお送りする可能性もあります。その方が、委員各位からもご意見を頂戴しやすいかもしれません。

委員長

他に意見がなければ、本会における議題(3)は了承ということでよろしいでしょうか。

一同

(異議なし)

委員長

では、その他の連絡事項等について、事務局より説明をお願いします。

事務局

- ・委員の任期と継続について説明。

事務局

今回の議事録等につきましては、ホームページ等で公開させていただきますので、皆さまのご了解をいただきたいと思います。

これをもちまして、第3回の豊明市子ども子育て会議を終了いたします。

以上